

平成 27 年度 広島県生物多様性普及員 人材育成講座（自然再生編）第 3 回講座終了

1 第 3 回講座は、実践型観察会（第 2 弾）川の生き物観察

雲一つない快晴の中、平成 27 年 8 月 9 日（日）に第 3 回講座を開催し、11 名が出席しました。今回は、前回に引き続き親子を対象とした実践型観察会の第 2 弾を実施。会場である霧ヶ谷湿原（山県郡北広島町八幡）で川の生き物観察を行いました。



観察会の参加者は、広島市内を中心に公募した親子など 20 名（子ども 11 名、保護者 9 名）で、広島駅からバスに乗り、集合場所である「高原の自然館（北広島町八幡）」へやってきました。前回同様、バスの到着時間が早まり、開始時間の 10 時を待たずして早々に観察会をスタートしました。

オリエンテーションとして、主催者を代表して（株）無垢～ムーク～の道原さんにあいさつをいただき、本日の講師である上田康二先生を紹介しました。また、簡単なタイムスケジュールを説明した後、早々に霧ヶ谷湿原へ移動しました。

2 採取する生物種数の目標を設定！

まず、参加者に川で生き物を取ったことがあるかどうかを聞きました。半数は活動経験があり、カエルや魚、ザリガニなどを採取したという声がありました。そこで、今回観察して欲しい水生生物をイメージしてもらったヒントクイズを行いました。

「大きさは 3 cm くらい」「目が少し飛び出ている」「8 本の脚と 2 本の爪を持っている」というヒントを出し、何かを当ててもらいました。正解はカニでしたが、大きなものだけでなく数 cm の小さな生き物もいることを知ってもらいました。



その後、参加者を 5 ～ 6 名程度の小グループに分け、それぞれのグループに 1 ～ 2 名の講座受講生を、グループサポーターとして配置しました。受講生には前回同様「グループメンバーの安全管理」と「子どもたちとの接し方を学ぶ」などの役割が、また 4 名の受講生には運営側のスタッフとしての役割が与えられ、「活動範囲内の安全管理」「子どもの動き方、反応を学ぶ」などを体験しました。

今回の観察は、各グループに指令を出して、その指令をクリアする「指令方式」で行いました。今回の指令は「初めて見た生き物」「○種類の生き物」「形が違う生き物」とし、○種類の○に入る数字をグループで相談して目標を決めました。



いよいよ川へ移動です。各グループに網 2 本・バケツ 2 個を渡し、川に到着後、川での活動の注意事項（ルール）を説明しました。「裸足で入らない」「膝より深いところに行かない」「川で走らない」の 3 つです。これらの事項は安全に活動をする際のルールとして、全員に徹底しました。

川に入るとすぐに、網を使って生物採集を行いました。流れのあるところや草の下、落ち葉が溜まっているところなど、思い思いの場所で採集しました。途中、上田先生から「網を構えておいて、その網に生き物を追い込めばいいんだよ」など、採集する際のアドバイスや生き物の話をしていただきました。

約 40 分後に川から上がり、バケツの中を確認。2 つのバケツの生き物を 1 つにして、履物を履き替えて集合場所まで持って行き、フィールドでの活動を終了しました。



3 移動中にクマタカを発見！



川から上がって、バスに乗車するまでの移動中、上田先生がクマタカを発見！2 羽のクマタカが上空を旋回している姿を見ることができました。

予定外のサプライズな出来事でした。

4 採集した生物を分類

午後は、会場を「芸北文化ホール」に移し、各グループが採集した生物を分類することから始めました。

同じ生き物は同じシャーレに入れ、自分たちで分類をすると同時に、採集前の目標が達成できているかどうかを確認しました。バケツの中に入っていたものをバットに移し、全員が頭を付きあわせて「ここに動くものがある！」「これはどのシャーレの物と一緒にかな？」「これ、何？」「気持ち悪い～」などの声を上げながら、熱心に分類しました。



概ね分類ができれば、水生生物が掲載されているテキスト「広島県の水生生物（一般財団法人広島県環境保健協会発行）」を用いて、採取した生物の名前を調べました。

講師の上田先生から、今回の観察会で採集された生き物について、解説してもらいました。採集できた生物は 27 種類で、写真やテキストを見ながら、流れがある・ないといった『場所』と砂・泥・落葉・石・石粒などといった『川底の様子』を柱として、それぞれの生き物がどこに生息しているかを教えてもらいました。ま



た、その生き物が何を食べているか、川の中での生き物の繋がりなどについてもお話していただきました。

5 表彰式とふりかえり

上田先生に協力をしていただいて、各グループが採集した種類数や他の班が採集していない生物を採ったなどを視点として、表彰を行いました。第1位から順に景品となったクッキー等を選び、大人も含めメンバー全員で分けました。

観察会参加者と受講生全員に、ふりかえりシートを使って今日1日のふりかえりを行いました。子どもたちからは「たくさんの生き物が見られて楽しかった」「少しは生き物嫌いが克服できた」「初めて見た生き物がいた」などの感想が聞かれました。一方、保護者からは「同じ川でも場所によって生き物が違うことを知った」「意外とたくさんの生き物がいることに驚いた」などの感想が聞かれました。



グループサポーターとなった受講生からは、「川に入るときポイントがわかった」「事前調査を行うことにより、危険な場所などを知ることができ、それらの場所に人員を配置できる」「川の中の岩は不安定なので、観察の際に注意が必要」などの感想が聞かれました。運営スタッフの受講生からは「観察現場での注意点、重点テーマを念頭に置くことが必要」「浅そうに見える澱みも、川底に石があり、不安定で注意が必要」「危険予知・予測で参加者に注意を促すことが重要」などの感想が聞かれ、観察会の参加者では決して気付かない点に気付いたようでした。

恒例となった「漢字1文字による感想」では、「種」「探」「採」「観」「発」「驚」「集」「興」「鎖」「多」「体」などさまざま、それぞれに得るもの・考えるものがあつたようでした。

次回は、受講生自らが行う「大人の川の観察会」です。今回の経験を活かして、有意義な観察会にしましょう。

【作成】株式会社無垢〜ムーク〜（三原市久井町江木 1611-1）

【発行】平成 27 年 8 月 14 日